

佐久市デジタル田園都市国家構想総合戦略（仮称）骨子（案）に係る市民意見募集（パブリックコメント）に寄せられた意見とその回答

・意見募集期間：令和5年8月8日～8月31日

・提出意見：16件2名

番号	骨子（案） 該当ページ	提出された意見概要	意見に対する回答等
1	全般	<ul style="list-style-type: none"> 「デジタル」はあくまで手段であり、デジタル化により何を実現しようとしているのか、どのような課題を解決しようとしているのか、佐久市の現況、強み、弱みの分析に基づいた絞り込みが必要ではないか。具体的な目標として挙げられている4分類は総花的であり、佐久市独自の施策に結びつけるのは難しいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 骨子（案）作成と並行して、各種データ等の基礎情報の収集、各種アンケート調査を実施しております。今後、課題の把握や「佐久市の現況、強み、弱みの分析」等を行ってまいります。 4分類はあくまで分類上の整理であり、素案作成段階において、佐久市独自の施策を検討してまいります。
2	全般	<ul style="list-style-type: none"> 他の地方公共団体ではデジタル田園都市国家総合戦略に基づき、様々な取組が進められており、大いに参考にすべきと考える。特に、表面的な成功例ではなく、失敗例や行き詰まりを見せている事例を調査・分析し、佐久市の施策に生かす取り組みも必要ではないか。具体的には、「世界最高健康都市」の実現に向け、PHR（パーソナル・ヘルスケア・レコード）を有効に活用できるエコ・システムを構築し、各種検診や、病院での治療、介護・看護サポートに生かすだけでなく、企業の健康経営や、健康サービス事業者との連携を通して、市民一人ひとりが健康増進に取り組めるようなまちづくりを目指してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> いただいた御意見を踏まえ、施策の企画・立案の参考にさせていただきます。
3	名称	<ul style="list-style-type: none"> 「佐久市デジタル田園都市国家構想総合戦略」（仮称）という名称について、「国家」はいらないと思う。「佐久市デジタル田園都市構想総合戦略」でよいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 総合戦略の名称については、「地方版総合戦略の策定・効果検証のための手引き（令和4年12月版）」や「佐久市デジタル田園都市国家構想総合戦略（仮称）策定に係る検討会議」における意見等を踏まえ、決定してまいります。
4	章立て	<ul style="list-style-type: none"> 「目指すデジタル田園都市像」を「状態」として分かりやすく示した上で次章からその背景等を説明する形にすべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 章立てについては、国や県の総合戦略、「地方版総合戦略の策定・効果検証のための手引き（令和4年12月版）」や「佐久市デジタル田園都市国家構想総合戦略（仮称）策定に係る検討会議」における意見等を踏まえ、改めて検討してまいります。
5	用語	<ul style="list-style-type: none"> 「リアルとデジタルが融合する」とはイメージがわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> 用語については、注釈を付けるなど、分かりやすい総合戦略の策定に努めてまいります。

番号	骨子(案) 該当ページ	提出された意見概要	意見に対する回答等
6	策定体制	<ul style="list-style-type: none"> 「策定に係る検討会議」の委員の中に「デジタル技術方面の専門家」と思しきメンバーが見当たらない。少なくとも1/4くらいは「デジタル分野の専門家」が必要ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 「佐久市デジタル田園都市国家構想総合戦略(仮称)策定に係る検討会議」の委員選定については、「地方版総合戦略の策定・効果検証のための手引き(令和4年12月版)」や、過去に策定した第1期及び第2期佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略における策定検討会議の委員構成を踏まえ、決定しております。なお、デジタル分野の専門家として、地域活性化事業連携協定を締結しているソフトバンク株式会社に策定アドバイザーとして就任していただいております。
7	その他	<ul style="list-style-type: none"> 策定スケジュールの後戻り防止のため、素案策定前に「第2回 策定に係る検討会議」を開催し「骨子案パブコメ検討会」を、さらに、「素案パブコメ」の後に「素案パブコメ検討会」を実施してはどうか(「検討会議設置要領 第2条(5)に該当)。また、12月に閣議決定予定の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」改訂版の反映スケジュールについて、「その内容により別途検討」を明示し、第4条(任期)はその状況により変化することを明確にしておく必要があるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 総合戦略策定スケジュールは、今後の情勢等によって変更する場合があります。いただいた御意見を参考にさせていただきます。
8	3ページ	<ul style="list-style-type: none"> 「高齢化率」を単純指数として扱うべきではない。「快適健康都市佐久」が実現し、健康で長生きすれば「高齢化率」は上昇するのが当たり前で、「少子化対策」が功を奏した場合には、むしろ良い傾向かもしれない。「人生100年」時代において「4世代社会」が当たり前になれば「高齢化率」は50%になるかもしれない。 	<ul style="list-style-type: none"> 骨子(案)での記載はあくまで数値として記載したままであり、単純指数として扱っておりません。なお、いただいた御意見を踏まえ、素案作成段階において、分析を行ってまいります。
9	3ページ	<ul style="list-style-type: none"> (3)として「食料・エネルギー安全保障」に関連する社会情勢の変化は取り上げるべきである。「スマート農業」や省エネ関連「IoT」などデジタル技術関連項目は急速に重要性が増しているため。 	<ul style="list-style-type: none"> いただいた御意見を参考にさせていただきます。
10	4ページ	<ul style="list-style-type: none"> 「オンライン手続の不具合」については、具体例を明示したほうがよい。 	<ul style="list-style-type: none"> 具体例については、注釈にて明示しております。
11	4ページ	<ul style="list-style-type: none"> 佐久市の取り組みへの満足度・重要度及び住みやすさ感・健康感・幸福感に関する市民アンケートにおける「とても住みやすい」とする割合が3年連続減少している一方、「住みにくい」とする割合が4年連続増加している実態を「一定の成果が表れている」と表現するのは問題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 骨子(案)4ページ「各指標については、経年の傾向から、順調若しくは概ね順調な推移であり、一定の成果が表れている。」と、主語は「各指標」(市内事業所の従業員数、人口の社会動態、合計特殊出生率、佐久市は住みやすいと回答する人の割合)であります。御指摘の点は、素案作成段階において、詳細な分析を実施してまいります。
12	4ページ	<ul style="list-style-type: none"> 「総合的検証」では「住みにくい」とする割合が4年連続増加していることへの「危機感」をきちんと盛り込む必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 上記11の回答と同様

番号	骨子(案) 該当ページ	提出された意見概要	意見に対する回答等
13	5ページ	<ul style="list-style-type: none"> ・「整合を図る」上で最も重要なことは、最上位計画である「第二次佐久市総合計画」の「基本理念」に沿ったものであり「市民の実感」や「わかりやすさ」を大切にしたいものである必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合戦略は総合計画に内包されるものと整理しております。いただいた御意見を踏まえ、分かりやすい総合戦略の策定に努めてまいります。
14	5～6ページ	<ul style="list-style-type: none"> ・PDCAサイクルについて、「策定に係る検討会議」において「C」「A」についての方針検討を十分行い、「素案」提示時にはその具体的な方針を記載すべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・PDCAサイクルを効果的に回すため、基本目標ごとに数値目標を、施策ごとに重要行政(KPI)をそれぞれ設定し、結果を踏まえた改善を行ってまいります。
15	5～6ページ	<ul style="list-style-type: none"> ・数値目標も「KGI」としたほうが「KPI」との対比が鮮明になってよいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いただいた御意見を参考にさせていただきます。
16	8ページ	<ul style="list-style-type: none"> ・従来「人的資本」への投資としては、「デジタル人材の育成」が「就労支援的教育の充実」などで主であったが、デジタル分野においては、すでに活躍できる人材を「アドバイザーやリーダー」として積極的に登用し、「仕事」として活動できる環境整備も重要になってくると思う。「副業」レベルで「仕事」として成り立つような仕組みなどを盛り込むべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いただいた御意見を踏まえ、施策の企画・立案の参考にさせていただきます。